

<感想> オランダのデルフトにある水資源・水環境関連独立法人研究所 Deltares で 4 週間(2012 年 6 月 2-30 日)、国際共同研究を行いました。共同研究では、まず、Deltares で開発された OpenDA、OpenMI、OpenStreams、Delft-FEWS など、水資源の長短期予測と実運用に適用できるデータ同化、水文モデリングシステム関連のソフトウェアを専門技術者の指導で勉強し、Discipline Hydrology meeting(6 月 1 1 日)では、Sequential Monte Carlo methods for probabilistic forecasts and uncertainty assessment in hydrologic modeling のタイトルで、研修者の博士研究の成果を発表しました。それに Deltares の Dr. Albrecht Weerts と研修者のデータ同化技術を組み合わせて、予測精度向上の手法について共同研究し、その結果は国際学会で発表する予定です。

今回、Deltares での貴重な経験は京土会の支援無しでは成し得なかったものであり、このような貴重なご支援を頂いたことに心から感謝申し上げます。



基礎研究の成果の実用化には様々な分野の新技术との融合が必須である。Deltares は、水資源の長短期予測と実運用に適用できるデータ同化システムを開発し、その手法は様々な国のリアルタイム予測システムで使用されている。今回の海外派遣では、Deltares の Dr. Albrecht Weerts とデータ同化技術の実践的な適用と気候変動に対応する長期予測精度向上の手法について共同研究を実施する。短期間の海外研修の効率を高めるために、電子メール等で研究内容とデータ、予測モデルを事前に共有する。共同研究の成果は国際ジャーナルに投稿し、Deltares と京都大学の相互協力のきっかけにする。